



# 週報

■4月は、『母子の健康月間』

第1519回例会 2018年4月12日 Vol.32/No.37

## ■本日の例会／第1520回 平成30年4月19日(木)

- 会長・幹事報告
- 各委員会報告・各委員長
- ゲスト卓話・香月克公 様

## 【出席率状況報告】

- ・会 員 数……………51名
- ・出 席 者……………29名
- ・欠 席 者……………22名
- ・出 席 率……………56.86%
- ・3/29の修正出席率・69.81%

## ■会長挨拶



田中 寿 会長  
今月は母子の健康月間です、ロータリーの特別月間の一つです。

世界を見回してみますと、水や食料不足等が原因で様々な要因で5歳未満の子供たちが年間590万人ほど亡くなっていると推計されています。出産に関わる母親の死も日本では考えられないほどのパーセンテージで死亡するというケースがあると言われています。

ロータリーではこういった問題に対応するために「母子健の健康月間」を制定し世界各地で活動・貢献しているものです。

特にハイチやナイジェリアなどで現地のロータリークラブとコラボによる、出産に基づく様々な合併症対策や自宅での出産の支援、飲料水改善や栄養補給などを中心として開発途上国での支援活動に協力しているわけであります。

話は少し変わりますが、私たちの足元を見てみますと、高校生の妊娠が最近話題になっています。先日テレビの情報番組の中で取り上げていたようですが、確認されている数だけでも2900件超の高校生の妊娠が確認されています。水面下のものを入れるとこの倍以上の数になるだろうと推計されていますが、その2900超と言われる中の30%強の生徒が学校を退学していると言われています。さらに、ほかの理由という事にして隠したままの退学者を入れると90%以上だとさえ言われています。これらの報道を見て感じるのは今の日本の学校事情の中で足りていないものは何か?という事を感じさせられるものでござ

います。学校は生徒が妊娠するイコール非行イコール退学という観念が非常に強くあるような気がしますが、やるべきことはほかにあって、妊娠という事象を引き起こさないための教育が日本の場合殆どなされていないと言われているそうです。これらについても女性の健康として学校や教育機関との協力で改善することも必要かもしれません。

## ■幹事報告



生駒俊明 幹事  
クラブ研修・R雑誌委員会合同の「研修セミナー」のご案内  
日時 5月13日(日) 10:30～15:40

会場 メインホテル

講師：ロータリーの友 事務所 所長 渡辺誠二氏

登録料：お一人3,000円(昼食・資料代含む)

## ■委員会報告 国際奉仕委員会



篠原英介 委員長  
・5月16日～19日 台湾龍山ロータリークラブの周年訪問を致します。

現在19名となっておりますので、参加されたい方は是非お願いいたします。お待ちしております。

## ・次年度幹事としての報告

5月27日(日) 地区研修・協議会が開催されます。

場所 鹿児島市民文化ホール 8時30分受付

次年度委員長様は地区の勉強会ですので、参加をよろしくお願いいたします。

職業奉仕委員会

西橋龍博 委員長



■児玉哲男氏について

平成8年6月17日美容室開業時より毎年父の日を含む週休の2日間チャリティー価格で提供し、2日間で10万円を目標として、今年で22年間になるそうですが、その全てをカリタスの園（児童養護施設）に寄付しております。

最初はコマーシャルも兼ねて行っていたのですが、カリタスの園を見学し現状をみることで、本当の意味で奉仕を考えるようになり現在も寄付を続けています。自分自身も初心に帰るきっかけになったそうです。

■くすの木賞授賞式

児玉哲男 様



みなさん、こんにちは、ご紹介いただきましたJ.D.ANNEX 児玉と申します。本日は思いもよらぬ賞をいただきまして、びっくりしております。本当にありがとうございます。

私は平成8年に神宮で美容室を始めさせて頂いて、今年の6月で22周年になります。

毎年お店の立ち上げの記念、お客様への謝恩をかねてオープン当初から2日間でのチャリティーを行っています。

内容としましてはカットもしくはシャンプー・ブローを寄付金¥1000のみで施術させて頂いて集まった収益金を全額「カリタスの園乳児院つぼみの寮」に寄附するというものです。

毎年実施しているチャリティーでは90人から120人のお客様より御協力頂いております。

このイベントを始めたきっかけを申しますと、オープン当初に何か記念に残る新規のお客様も集められるキャンペーンをやったらどうかとディーラーさんから提案していただき考えてみたところ、周りの同時期オープンの美容室は「何

パーセント割引」とか「先着何名様まで半額」とかいうキャンペーンでオープンされてましたがしっくりこなく、当時の私は都内で働いていて、地元に戻って来て1年しかたってなくお客様の数は全然少なく、もし、お話し頂くのだったらタダでいいわと思ったのですが「試して下さい!!無料です」というのも腑に落ちず、そんな事を考えてる間にオープンの日は近くなる。そして同時期に奥さんが2人目の子供を出産しまして事もあろうに私は携帯を持って無くお店のペンキ塗りをしていて立ち会いに間に合わず申し訳ない気持ちでいっぱい、しかも切迫早産で予定より1ヶ月早く生まれ、子供だけ別の救急病院に入院する事になりその救急病院に行くとちっちゃい体に心電図のコードがたくさんついている状態で心配でしようがない、大丈夫かなと思いつつながら、その状況を説明する為に産婦人科に戻りました。戻ったら病院の入口に一枚の張り紙がはってありました。カリタスの園乳児院のお母さん支援の張り紙でした。その時は何の施設?何処に有るの?この程度の認識でした。

奥さんに聞くと、その産婦人科の、目の前に在る施設だということと、事情があつて親と一緒に生活できない子供達がいるというのを聞き、自分の何も知らない無知さにショックを受け、子供の出産を喜んでいる影で、そういった子供達もいる事を知って、ささやかながら、力になりたいという気持ちが湧き、寄付したいと即申し入れに行きましたがしかし、当時28歳と若く口下手で思いを上手く伝える事も難しくさらにひげは伸ばし放題、お店のペンキ塗りで服はペンキまみれシスターの表情を見ると 不審者、怪しい者と思われたのも明らかで、こうなったら態度で示すしかないと思いチャリテイクット実施を決定しました。

続けて3年目の時に初めて施設内の子供達を見させて頂きました。今は新しく改築されてきれいになっているのですが当時の施設は古くベビーベッドが30位ならべてあり、そこに居る子供

発行 / 宮崎中央ロータリークラブ

●事務局 〒880-0804 宮崎市宮田町10-25 宮田町ビル TEL.0985-22-6767 FAX.0985-22-0288  
●例会場 〒880-8545 宮崎市山崎町浜山 シーガイアコンベンションセンター TEL.0985-21-1155(毎週木曜 12:30~13:30)  
会長/田中 寿 副会長/山川 力 幹事/生駒俊明

達を見て、夜で暗かったのもあったのでしょうかが寂しげな感じがして、何とも言えない気持ちになり、これは続けなければと思い決意しました。これがチャリティを始めるきっかけになります。

自分は両親もおり何不自由無く育ってききましたが、こういうきっかけがあった事に感謝しています。

そして仕事を通じてささやかではありますが、貢献できているのではないかと考えています。

当時の自分のようにこういう問題に「無関心」だったという事、どうしても「自分ごとではないから」関係ないという気持ちになり易いとは思いますが「こういう子供達がいるよ」という事を頭の片隅に置いていただけると幸いです。

そして、元気に育ってくれているうちの5人の子供達、産んでくれた奥さん、これまでに働いてくれたスタッフ、ディーラーの方々、そして何よりもお店に御来店、御協力くださる御客様の力添え無くしてはやってこれませんでした。

これからも周りの皆様に感謝の気持ちを込めて続けていきます。最後になりましたが、宮崎中央ロータリークラブのますますのご発展、皆様のご健勝、心からお祈りし、お礼のことばといたします。

本日は本当にありがとうございました。

## ■会員卓話

### 大坪泰三 会員



「灘一」と「忘年会」 ～さ

だまさしコンサートトークより～

◇幻の名酒『松竹梅』について

今から40年位前、宝酒造「松竹梅」のCMで石原裕次郎の有名なキャッチコピー

『その昔タクシーでどこまで走っても1円だった頃、1升5円もする名酒があった』

当時相当流行ったコピーだと聞く。

実際、昔の『松竹梅』はそれ程の高級酒だったらしい。しかしその名酒は名前こそ同じだが、現在、宝酒造で造られている「松竹梅」のことで

はない。

実は昔『松竹梅酒造』という酒蔵があって、幻の名酒『松竹梅』はそこで造られていたという。そしてその酒蔵は確かに現存しており、今も酒を作り続けているとのこと。しかし、今や「松竹梅」という銘柄名は宝酒造の登録商標となっているため、もう『松竹梅酒蔵』では使えない。

そこで造られている酒の名は『灘一』というらしい…。

というお酒にまつわるお話し。

◇1980年（今から38年前）の12月のある日の夜 さだまさし 28歳

さだまさしの企画会社「さだ企画」は事務所で近所のスーパーから買って来たおつまみや、小僧寿しみたいなもので、本当にささやかな「忘年会」をやっていた。

実はこの年、さだは個人で28億円もの借金を背負うことになり、「さだ企画」も一度不渡りを出して破産寸前までいっていた。しかし、本来は借金の請求をする側の債権者の人達が「倒産を避けるにはいくら必要なんだ？」と逆に資金協力をしてくれたおかげで、2回目の不渡りはどうにか免れることができたのであった。

借金は、彼が監督・プロデュースしたドキュメンタリー記録映画「長江」の制作費がかかり過ぎたことによるもの。しかし個人で背負う借金としてはあまりに大き過ぎた。

意気消沈してしんみりとしていた忘年会の席に「元気出せよ」とばかり、大阪の朝日新聞社の記者：赤塚氏が件の「幻の名酒？」かどうかは解らないが、その酒にまつわる物語と一緒に、清酒「灘一」を差入れてくれた。

これからどうなるか、途方にくれながら来年以降のことを考えていた矢先、赤塚氏の暖かい人情に触れ、その「灘一」を皆で飲んだ。涙が出る程旨かったという。

◇1995年（今から22年前）の12月の夜 さだまさし 43歳

例年のささやかな「さだ企画」の忘年会に、ラベ

## 発行 / 宮崎中央ロータリークラブ

●事務局 〒880-0804 宮崎市宮田町10-25 宮田町ビル TEL.0985-22-6767 FAX.0985-22-0288

●例会場 〒880-8545 宮崎市山崎町浜山 シーガイアコンベンションセンター TEL.0985-21-1155(毎週木曜 12:30~13:30)

会長/田中 寿 副会長/山川 力 幹事/生駒俊明

ルのない酒(400mlが6本)が木箱入りで送られてきた。送り先は「松竹梅酒蔵 野田 彰」とあり、1通の直筆の手紙が添えられていた。

「ようやく、さださんに灘一を送り届けることができました。生酒なのでできるだけ早くお飲み下さい…」から始まる文面は野田社長の並々ならぬ熱意が感じられた。

実はこの年の1月17日、午前5時に発生した「阪神・淡路大震災」で神戸灘区は壊滅的な打撃を受け、「松竹梅酒蔵」も酒蔵が全壊していた。大正時代から営々とやってきた酒造りも、「もう神様がやめなさい」と言っているのだと思い、もう酒造りは止めようと決心しながら、震災後の酒蔵の瓦礫を片付けていた。

処がそこに、野田社長の姪に当たるお嬢さんが「さだまさしが、叔父ちゃんのお酒を褒めているよ。」と1本のビデオを持って走ってきた。「さだまさしは知っているが、なんで灘一のことを知っているのだろうか?」といぶかしながら、ビデオを観たそうだ。

そのビデオ、震災が起こる1年前のコンサートのビデオで、さだまさしがコンサートトークの中で「灘一」を紹介していたもの。そしてその味を「最近の酒はどんどん辛くなっていく傾向がある。しかしこの灘一には、甘いとか辛いとかいう言葉では表現できない、のんびりとした温かみがある。そんな本当に旨い酒だ。」と評していた。

実はその灘一を15年前に初めて紹介してくれた朝日新聞社の赤塚さんが、そのコンサートの1ヶ月前にすい臓がんで急逝されていた。その死を悼み追悼を捧げる意味で、「灘一」をコンサートで紹介したのだった。

計らずもそのコンサートでのトークをビデオで観た野田社長は、「自分の知らない処で、自分の造った酒が誰かを励ましている、自分の造った酒が世間に役立っているんだ」と感じ「もう一度だけ頑張ってみよう。」と思ったと云う。

そして文字通り懸命に酒蔵を復興させるため

に奮闘し、震災のあった年の12月、まる1年近くをかけてやっと酒蔵が完成。また「灘一」を造ることができるようになった。

先の野田社長の手紙はこう続く、

「さだまさしさんが、旨いと褒めてくれたから何とかここまで漕ぎ着けることが出来ました。ですから、復興後の1番最初の灘一はさださんに飲んでもらおうと…。

出来立てですから、まだレベルは貼っていません。でも正真正銘の灘一です。」

野田社長の情熱あふれた手紙に背中を押されるように、さだをはじめスタッフ一同は、まだラベルもない「灘一」を飲んだ。15年前に赤塚さんが意気消沈している我々にエールとして差し入れてくれた、あの懐かしい味が蘇って涙が出た。

自分達もまだまだ苦しいが、震災というもっと大変な、もっと苦しい大苦境から這い上がり自分達以上に大変な苦勞をして頑張っている野田社長から、「負けるな、お前も頑張れよ。」と一層熱いエールを送られているようで、身体が震えるくらい嬉しかった。というのが、その時のコンサートトークの結び。

この話を聞いて以来15年、私は毎年職場の忘年会にこの「灘一」を取り寄せて皆に恩着せがましく振る舞っております。もし、飲みたいという方がいらっしゃいましたら、ロータリークラブの懇親会か何かの機会に振る舞わせて戴きたいと思えます。

ご清聴ありがとうございました。

## 出席委員会報告

甲斐裕隆 委員長

### ◆3/29メイクアップ者名 (敬称略)

押川紘一郎、黒木雄一、黒木陽子、  
長友幸一郎、松田くるみ、湯浅敏幸、  
志戸本和孝